株式会社日本バイアウト研究所

＜Japan Buy-out Deal Conference in 横浜＞

企業価値向上シンポジウム

～事業再編、事業承継、経営革新における戦略的視点～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、横浜にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させて頂きます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、神奈川県（横浜市、川崎市、横須賀地区、湘南地区、県央地区、県西地区）と東京都大田区の企業経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A（mergers & acquisitions）に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。また、地方企業が経営基盤の強化や生産性の向上を目指して M&A やバイアウトの取り組みを行うケースが増えており、多数の事例が出てきています。この十数年の間に、関東地区を含む東日本地域においても、製造業（自動車部品、一般機械、電子部品、精密金型、電気機器、工具、非鉄金属、繊維、日用品、資材、食品、医薬品、化学など）、小売・卸売業（食品スーパー、アパレルショップ、専門店、専門商社など）、サービス業（外食チェーン、教育サービス、医療・福祉・介護サービス、法人向けビジネス・サービスなど）、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、大企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用された事例、多様なネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が資金調達を実施して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す企業の経営者、戦略的 M&A を検討している企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要領

【日時】
2018 年 3 月 13 日（火）13:10～17:30（12:40 受付開始）

【会場】
ホテルモントレ横浜 3 階ビクトリア（横浜市中区山下町 6-1）みなとみらい線「元町・中華街」駅より徒歩 3 分

【参加費】
1 名 23,000 円（税込）

【参加対象】
■未上場オーナー企業の経営者、上場企業（子会社を含む）の経営者（経営企画担当、財務担当、社長室など）
■地域金融機関（地方銀行、信用金庫など）、大手銀行、証券会社　■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】
申込書での FAX 送信か Web サイト上（http://www.jbo-research.com/）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsor

KPMG

Co-sponsors

CLSA CAPITAL PARTNERS　ANT CAPITAL PARTNERS　POLARIS　Advantage Partners

BPEA Baring Private Equity Asia　CAREER INCUBATION INC.　ANDERSON MŌRI & TOMOTSUNE　J-STAR　iΣ Capital アイ・シグマ・キャピタル株式会社

NEXT ネクスト・キャピタル・パートナーズ　Phoenix Capital Group エンデバー・ユナイテッド株式会社　INTEGRAL　K&C 刈田・アンド・カンパニー Karita & Company,Inc.　MERCURIA INVESTMENT

主催：株式会社日本バイアウト研究所
協力：株式会社新生銀行　株式会社中央経済社
URL：http://www.jbo-research.com/
【お問い合わせ先】jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

プログラム

受付開始（12:40）

基調講演（13:10-13:50）

テーマ：持続的成長のための戦略的視点 ～再成長・事業再編・事業承継局面での M&A・バイアウトの活用～

株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 中村吉伸氏

＜概要＞

企業を取り巻く環境が激変し、常に成長と再生のサイクルが短期間で訪れる現在、他力や外部リソースの活用が有効である。また、事業承継においても、外部第三者に事業を譲り渡すケースが増えてきている。こういった局面で、M&A やバイアウトがどのように活用されているのかを、進めるうえでのポイントや留意点とともに概説する。

マーケット・レビュー（13:50-14:30）

テーマ：関東地区を中心としたバイアウト案件の動向 ～事業再編、事業承継、海外展開の事例を中心として～

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

＜概要＞

製造業（自動車部品、産業機械、電子部品、精密金型、プラスチック成形、プリント基板、電気機器、化学、繊維、資材、木製品、食品など）と小売・サービス業（外食チェーン、アパレルショップ、医療・介護サービス、教育サービス、その他）を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、大企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件について、具体的な事例を交えて説明する。

休憩（14:30-14:40）

事例紹介①インタビュー・セッション（14:40-15:15）

テーマ：創業オーナーの退任を伴う事業承継と新しいグループ経営の形

～ものづくりの発展に貢献することで成長し続ける総合人材サービスグループの事例～

アウトソーシング・インベストメント株式会社 代表取締役社長 石垣健一氏

CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 シニア バイス プレジデント 山口龍平氏

聞き手：キャリアインキュベーション株式会社 マネージングディレクター 佐竹勇紀氏

＜概要＞

近年の景気回復や働き方改革の影響を受けた労働力不足から、アウトソーシング業界は株式市場でも成長産業として注目される業種となっている。アウトソーシング・インベストメント（本社：神奈川県横浜市）は、製造業を顧客とする総合人材サービスグループの持株会社として、異なる注力領域を持つ事業子会社を束ねその成長を牽引してきた。本セッションにおいては、グループの主柱である創業オーナーの退任を伴う事業承継の事例として、「バイアウト・ファンド」という新株主が既存経営陣と新しい関係を構築した過程や、新体制化で行った選択と集中、積極的に M&A を活用した断層的な成長の実現のための取組みについて紹介する。

事例紹介②インタビュー・セッション（15:15-15:50）

テーマ：事業承継の実行を契機とした後継者との共同事業型バイアウト ～事業戦略の共有と成長資金調達～

株式会社ウイルプラスホールディングス 代表取締役社長 成瀬隆章氏

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー 上田研一氏

聞き手：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

＜概要＞

インポーター（メーカー）に販売エリアを管理・統制される輸入車ディーラー業界において、同一エリアで複数ブランドの販売ができているメガディーラーは、日本国内でもそう多くは存在しない。ウイルプラスホールディングスは、東京都、神奈川県、福岡県の 3 エリアで 8 ブランドを展開し、2005 年のバイアウト・ファンドとの資本提携以降、上記のエリアドミナント・マルチブランド戦略を実現する手法として M&A を活用し、2015 年 3 月に JASDAQ 上場を果たした後も、持続的成長を実現している。本セッションでは、自社の成長戦略実現のために、増資による成長資金調達を行い、M&A ノウハウの吸収や上場に向けた管理体制構築支援など、アント・キャピタル・パートナーズが持つリソースをうまく活用した同社の事例を紹介する。

コーヒーブレイク（15:50-16:10）

パネルディスカッション（16:10-17:15）

テーマ：日本企業の次なるステージへの飛躍に向けて ～バイアウトの手法を活用した企業価値向上戦略～

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 シニア・ヴァイス・プレジデント 大野直彦氏

株式会社アドバンテッジパートナーズ プリンシパル 早川裕氏

ベアリング・プライベート・エクイティ・アジア株式会社 ヴァイス プレジデント 北見啓氏

司会者：株式会社 KPMG FAS シニアマネージャー 浅川俊介氏

＜概要＞

激変する環境下において、人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えている企業が多いが、M&A やバイアウトはこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、製造業（産業財・消費財）および小売・サービス業を含む多様な業種の案件に関与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、クリーンサアフェイス技術（液晶用大型マスクブランクスの製造、本社工場：神奈川県高座郡寒川町）、ファスフォードテクノロジ（半導体後工程製造装置の開発・製造）、武州製薬（医薬品・治験薬受託製造）、ファクトリージャパングループ（整体サロン運営）、エフ・エム・アイ（厨房機器の販売・開発・製造）、ネットジャパン（貴金属地金の卸売・小売）などの多彩な事例を取り上げながら、バイアウトの手法の活用意義や企業価値向上に向けたキーポイントなどについての討論を行う。

クロージング・スピーチ（17:15-17:30）

テーマ：M&A・バイアウトを活用した事業再編・事業承継の近時の実務

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 勝間田学氏

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 江本康能氏

＊本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。